

『武庫庄っ子』（生活指導通信）

令和元年度 年間重点生活目標 「気持ちのよいあいさつをしよう」

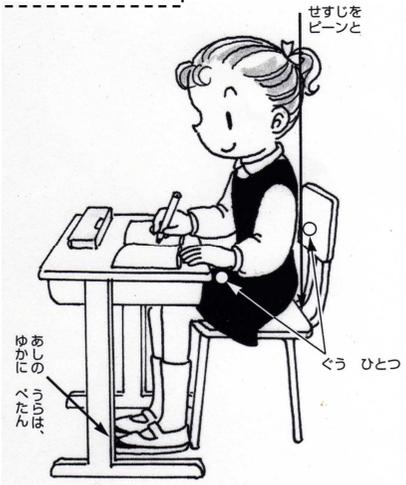
4月から年間重点生活目標「気持ちのよいあいさつをしよう」を目指して取り組んできました。しかし、相手の目を見てあいさつをしている児童が少ないように感じます。生活委員会メンバーによる朝のあいさつ運動に加え、武庫東中学校とも連携を取り、中学生が校門に立ちあいさつをするといった取り組みも行っています。今後もあいさつの大切さを理解し、普段から明るいあいさつが学校にあふれるようになってほしいものです。

「あいさつ」という言葉の語源は、「胸を開いて相手の心に迫る」という説があります。あいさつが活発になると、学校の雰囲気明るくします。また、他人に対する思いやりにもつながります。あいさつは、「体で覚えるコミュニケーション」の第一歩です。武庫庄小学校の子どもたちには、どんな人にも、優しい笑顔で、親しみのあるあいさつができる人になってほしいと願っています。

◇6月

生活目標 しせいを正しくしよう

成長の著しい学童期に正しい姿勢を習慣付けることは、子どもの健康のためにもとても大切なことです。また、集中力が持続しない疲れやすい姿勢は学習姿勢としてもふさわしくありません。他にも、長い時間悪い姿勢していると背骨が曲がって成長してしまうこともあるようです。そうならないためにも、しっかりと背筋を伸ばし、椅子に深く腰をかけましょう。上体を真直ぐにすることは椎間板への負担を軽くし、骨格の発育を妨げず、身体全体の血行も良くします。



登下校のルールについて

○先日の地区児童会で尼崎北警察の方から交通に関する講話がありました。最近、子どもを巻き込んだ交通事故が増えている、交通事故が起きないように安全な登下校の仕方を考えてほしいなど日常生活で子どもたちが気をつけなければならないことばかりでした。

「いかのおすし」の合い言葉も教わりました。ご家庭でも知らない人に声をかけられてもついていけないことをもう一度ご指導よろしくお願ひします。

いか…知らない人についていけない

す…すぐ逃げる

の…知らない人の車、誘いにうらない

し…まわりの大人にしらせる

お…おおごえで叫ぶ

「いかのおすし」で覚えましょう！